



# 青少年育成市民会議



いわき市青少年育成市民会議において、地区ごとに行っている青少年の健全育成に関する活動の一部を紹介します。

## ～生かそう、きずな。未来のために!～

事務局 小名浜公民館 (五四) 一八九〇



鹿島支部では、鹿島小学校の四年生から六年生を対象に、夏休みに「標語コンクール」を開催しました。これまでは、「標語コンクール」は五年に一回開催していましたが、今年から三年に一度の開催となり、児童の参加機会が増えました。今回は、八十七点の応募があり、厳正な審査の結果、各学年二点の作品が入賞として選ばれました。入賞作品は看板とパネルにし、鹿島公民館と鹿島小学校に掲示しました。表彰の際には、受賞した六人の児童は皆、とても誇らしげな表情を浮かべていました。次回はどんな作品が出てくるのか楽しみです。

### 青少年育成標語コンクール

小名浜地区推進協議会

事務局 植田公民館 (六三) 三四六七



八月四日(日)、本協議会と勿来支部共催で、「第二回いろいろなスロージング大会」を勿来公民館で開催しました。募集の定員を超える参加者と、運営に協力頂いた高校生ボランティアやガールスカウトの皆さんを含め、総勢で五十人を超える大人数の大会となりました。前半にはポッチャ、後半にはモルツクを実施しました。ポッチャでは、双方ジャックボールに触れての延長代表戦、モルツクでは、相手点数を意識した最後の一投などもあり、大きな声援と拍手、歓声が溢れる大会となりました。

### いろいろなスロージング大会

勿来地区推進協議会

事務局 常磐公民館 (四三) 三三〇五



「青少年育成に関する標語」のコンテストを実施しました。常磐地区の小・中学校十校から、五十八点の応募があり、審査の結果、小学校、中学校それぞれに最優秀賞、優秀賞、佳作を決定。入賞者には、賞状と記念品を贈呈しました。また、入賞した十二点の作品を広く周知するため、ポスターを作成し、小・中学校や地域の関係機関に掲示をしていただきました。本年度はこれまで、登校時の「愛の一声運動」や総会の開催、夏祭りの巡視を行ってきました。少子化が進む中、来年度は、新たな事業の検討もしていきたいと考えています。

### 青少年育成に関する標語

常磐地区推進協議会

## 好間地区推進協議会

## おやじでレッツ碁！

十月十九日(土)、好間公民館講堂を会場に、町内の親子など四組十人が参加して囲碁の入門講座を開催しました。

日本棋院いわき支部からアマチュア棋士の方を講師に迎え、ルールの解説をしていただいた後、親子で対局をしました。続いて、子ども同士で対局が始まると、すぐに打ち解け、碁友となってお互いの名前を聞き合う姿が見られるなど、仲良しになり、最後には、親子がペアとなったペア碁対局を楽しむまでとなりました。

この活動を通し、親子のふれあいを感じながら、日本の伝統文化の一つである囲碁のおもしろさを知ってもらうことができました。



事務局 好間公民館 (三六)二〇五〇

## 三和地区推進協議会

## いわき伝統野菜教室

十月十六日(水)、地元農家の大谷さんや集落支援員の協力のもと、三和小学校三・四年生が、三和町の伝統野菜「むすめきたか」(小豆)の収穫を行いました。

子どもたちは、五月の開講式で三和地区の農業と伝統野菜、むすめきたかの栄養について学習し、六月からは、種まきや除草、土寄せなどを体験してきました。

昨年から不作だったこともあり、今年こそはと祈る子どもたちの思いが届き、たくさん収穫することができました。みんなの笑顔あふれる大満足の一日となりました。



事務局 三和公民館 (八六)二〇〇四

## 田人地区推進協議会

## 田人チャレンジ教室

七月二十八日(日)、田人ふれあい館にて田人小・中学生、保護者や地域の方々など約七十人が参加し、田人チャレンジ教室を開催しました。

午前中は折染めによるオリジナルうちわ作り、流しそうめん台の作製、お昼にはそうめんと一緒に流れてくるミニトマトやチーズなど変わり種に目を輝かせながら、たくさん食べていました。

午後は消防士の講話に始まり、荷路夫川での川遊び、田人の木材を使用したガランド作り、田人地域おこし協力隊指導のウォーキングフットボールに分かれて活動し、充実した一日を過ごしました。



事務局 田人公民館 (六九)三三二六

## 川前地区推進協議会

## 地域の人々との貴重なふれあい

本協議会では、七月一日(月)、川前駅にて、社会を明るくする運動川前地区推進委員会との合同により、朝の街頭啓発運動を実施しました。

参加者から、列車を利用して通学する中学生や高校生に声をかけると、子どもたちは少し戸惑いながらも元気にあいさつで応じ、地域の方々と笑顔で言葉を交わしていました。

川前地区では、昨年度をもって地区内の全ての小・中学校が閉校となり、通学路などあいさつをする場面も減少していますが、この運動をきっかけとして、地域住民と子どもたちとの貴重なふれあいの機会をつくっていただくと考えています。



事務局 川前公民館 (八四)二〇〇三

## 内郷地区推進協議会

## 福島空港へ行ってみた

七月三十日(火)、小学生を対象に「福島空港バックヤードツアー」を実施しました。

滑走路、防災ヘリ、化学消防車、飛行機の離発着、全てが興味津々。昨年、開港三十年を迎え、現在、台湾のチャーター便も継続的に運行しています。

待ちに待ったランチは、特別待合室を貸し切って、からあげやエビフライなどが乗った「お子様プレート」です。

子どもたちからは、「楽しかった、また来年も行きたい」との声があがりました。さて、来年はどこへ行くことになるのでしょうか。

## 四倉地区推進協議会

## 和紙のちぎり絵作成

毎年恒例の「夏休み体験教室」を、七月三十日(火)は四倉公民館、三十一日(水)は大浦公民館で二回に分けて開催し、四倉・大浦小学校の児童合わせて二十四人が参加しました。

今年の内容は「和紙のちぎり絵作成」で、講師は萩原光明先生でした。

子どもたちは、指先を器用に動かしながら和紙をちぎって台紙に貼りつけ、色鮮やかなアサガオの花や、ハロウィンのキャラクターのちぎり絵を、楽しく完成させていました。

強くて柔らかな和紙のよさを、子どもたちが制作を通して実感できた体験教室でした。

## 遠野地区推進協議会

遠野わくわくキッズ  
夏休みの宿題をやっつけよう！

七月三十一日(水)、入遠野公民館で、地域ボランティア、婦人会の協力のもと、遠野わくわくキッズを開催し、遠野小学校児童二十二人が参加しました。

午前中はボランティアの方々と、ドリルやポスター制作などの宿題に取り組みました。お昼には、婦人会特製のカレーライスをみんなでお腹いっぱい食べ、午後からは庭のデッキで、スイカ割りや水遊びを行いました。

小学校が統合され、初めての事業でしたが、学校・PTAの協力をいただき、子どもたちの眩しい笑顔に、みんなが嬉しい気持ちになった、夏休みの思い出に残る一日になりました。

## 小川地区推進協議会

## おがわ七夕まつり

八月四日(日)、小川郷駅周辺において「おがわ七夕まつり」を開催しました。

季節の行事を通して、世代間の交流を深め地域のつながりを強めようと令和四年から始めたこの行事も三年目を迎え、地元商工会による縁日コーナー・出店・小川地区のこどもじゃんがら・大人のじゃんがら・チアダンス披露などの催しが行われ賑わいました。

また、七夕飾りでは、小川地区の子どもたち約六百人が事前に願い事を記入した短冊を家族みんなで楽しみながら八本の竹に飾り、願いいっぱいの七夕飾りが設置され、小川郷駅周辺が華やきました。

事務局 内郷公民館 (二六)二九七四



事務局 四倉公民館 (三三)二九二〇



事務局 上遠野公民館 (八九)二〇五九



事務局 小川公民館 (八三)二二六八



久之浜・大久地区推進協議会  
ジュニア防災教室

八月五日(月)、久之浜第一小学校  
児童教室にて、夏休み子ども教室を  
開催しました。

ジュニア防災教室では、防災士の  
石川弘子さんから、東日本大震災時  
の、久之浜町の地震や津波火災など  
の映像を見ながら話を聞き、「もしも  
災害にあつてしまったら」のクイズ  
も楽しく答えあわせできました。

次に体育館へ移動し恒例の「スイ  
カ割り」です。今年は七十五人の参加  
者があり、館内は友だちを応援する  
大歓声が響いていました。割れたあ  
とは、食べやすくコップに入れて、甘  
いスイカを皆笑顔で頂き、楽しい時  
を過ごしていました。



事務局 久之浜公民館 (八)二二六五

平地区推進協議会  
体験学習ツアー

八月一日(木)、子どもたちの体験  
活動として、「日立シビックセンター  
科学館・天球劇場」と「茨城県天心記  
念五浦美術館」かいけつゾロリ大冒  
険展のツアーを実施し、小学四、六  
年生四十八人が参加しました。

シビックセンターでは、プラネタ  
リウムで美しい星空と壮大な宇宙を  
体感、科学館では、自分の体から宇宙  
までさまざまな展示があり、遊びな  
がら楽しく科学を学ぶことができました。  
五浦美術館では、展覧会を鑑賞  
したほか、スタンプラリーに挑戦す  
るなど楽しい思い出となりました。



事務局 中央公民館 (二)二五四二

市民会議総会・表彰

令和六年度いわき市青少年  
育成市民会議総会を、五月二  
十三日(木)、文化センターで  
開催しました。

今年度の努力目標や事業計  
画等を決定したほか、本市の  
青少年健全育成に寄与された  
個人六人に対し、表彰状の授  
与を行いました。

「市民会議表彰受賞者紹介」  
(敬称略)

- 澤田 忠雄 (勿来)
- 須田 清史 (内郷)
- 長谷川 淑子 (四倉)
- 篠原 清美 (好間)
- 片寄 博正 (好間)
- 大原 史之 (小川)

福島県青少年健全育成  
条例に基づく知事表彰

受賞者紹介(敬称略)

「青少年育成者の部」

- 小松 朗  
(いわき東地区少年警察ボラ  
ンティア協会)
- 金野 博子  
(ガールスカウト福島県連盟)

福島県青少年育成  
県民会議会長表彰

受賞者紹介(敬称略)

「青少年指導者の部」

- 加藤 高明  
(日本ボーイスカウト福島連  
盟いわき第2団)
- 奥村 幸雄  
(いわき市少年補導員連絡協  
議会常務幹部会)
- 櫻 正利  
(いわき市青少年育成市民会  
議常務地区推進協議会)
- 山崎 雅弘  
(いわき市少年補導員連絡協  
議会小名浜支部会)
- 芳賀 郁美  
(いわき南地区少年警察ボラ  
ンティア協会)
- 吉田 泉  
(「青少年健全育成成功者の部」  
ランティア協会)

第十七回いわき市  
青少年育成大会

八月二十五日(日)、文化セ  
ンターにて、市教育委員会と市  
少年補導員連絡協議会及び市  
青少年育成市民会議の三者共  
催により、第十七回いわき市青  
少年育成大会を開催しました。

その運営には、青少年の地域  
活動を積極的に支援するため  
中・高校生六人の青少年ボラ  
ンティアが受け入れました。

小・中学生による意見発表  
では、五人の発表者が自身の  
体験から得た学びや気づき等  
を力強く発表し、参加者は熱  
心に聞き入っていました。

続く、針生ヶ丘病院の大森  
洋亮氏による記念講演では、  
「困難な状況を克服するには、  
折れない心、苦しい局面に遭遇し  
た際の心の持ち方、親子間で  
のコミュニケーションに  
ついて、実例  
や実技を交え  
ながら、終始  
楽しい雰囲気  
で説明してい  
ただきました。



いわきメディア  
指導員事業

市民会議では、青少年とその  
保護者に対し、インターネット  
等のメディアの正しい使い方や  
危険性を啓発することを目的に、  
「いわきメディア指導員」を養成  
し、学校・公民館・地域で行  
う講習会等に派遣しています。  
子どもたちを有罪情報や犯罪  
被害等から守るため、どうぞご  
活用ください。

【お問い合わせ先】

生涯学習課青少年係  
電話 (二二) 七五五八

第四十六回  
少年の主張福島県大会

九月二十六日(木)、川俣町  
中央公民館で、県青少年育成  
市民会議と国立青少年教育振興機  
構の二者共催により、少年の主  
張福島県大会が開催されまし  
た。

本市からは、平第一中学校の  
大和田心菜さんが出場し、優良  
賞を受賞されました。当日の発  
表動画が、下記  
の二次元コード  
から視聴できま  
すので、ご覧く  
ださい。



令和六年度 編集委員名簿

|      |     |    |     |
|------|-----|----|-----|
| 委員長  | 小名浜 | 大滝 | 忠幸  |
| 副委員長 | 勿来  | 江尻 | 元成  |
| 委員   | 常磐  | 森  | 道子  |
| 委員   | 内郷  | 井手 | 勝人  |
| 委員   | 四倉  | 鈴木 | 廣美  |
| 委員   | 遠野  | 三戸 | まゆみ |
| 委員   | 小川  | 碓川 | 秀一  |
| 委員   | 好間  | 吉田 | 兼光  |
| 委員   | 三和  | 大竹 | 良子  |
| 委員   | 田人  | 荒川 | 由香里 |
| 委員   | 川前  | 猪狩 | 文夫  |
| 委員   | 久浜  | 久  | 弘子  |
| 委員   | 平   | 吉田 | 公男  |

編集発行

いわき市青少年育成市民会議

事務局

いわき市教育委員会事務局

生涯学習課

千九七〇八〇二六

いわき市平字堂根町四一八

いわき市役所東分庁舎四階

電話 (二二) 七五五八